KAMAKURA
再生展 EXHIBITION

2015.09.12 SAT ›››13 SUN

ART EXHIBITION ›››››››››››››››› 10:00-16:30
RECEPTION PARTY ›› 12 SAT 16:30-18:30 at イシワタリ

ART EXHIBITION

テーマ「再生」について　100%NewYorkディレクター 藤野えり

ニューヨークに留学していたのはほんのわずかな期間でしたが、その時に感じた文化の多様性、表現への寛大さ、そして厳しさ。ニューヨークの魅力は時を経てなお、自分の中で生き続けています。

色々な国の人々と一緒に学ぶ中で1番驚いたことは、日本の文化に対する関心の高さです。その経験から、何かを作り出すときに"日本"の持つ歴史や文化を強く意識するようになりました。いつかニューヨークを経験したからこそ見えてきた日本の魅力を表現してみたいとも思いました。100%NewYork企画の出展者は、ニューヨークを経験したアーティストです。

わたしのように多文化に触れたことで作品のスタイルも大きく変わった人もいるし、変わらずスタイルを貫く人もいます。いずれもニューヨークを経験したからこその表現だと思います。「再生」というテーマは、異文化に触れた自身の変化をあらためて作品に表現したいという思いから生まれました。展示作品には各アーティストによる「再生」という言葉の解釈がこめられています。様々な考え方を味わうと同時にアーティストの表現スタイルにも注目してもらえたらうれしいです。

会場の古民家スタジオ・イシワタリは、築86年の歴史をもつ建物です。どこか懐かしいさのある場所で、本を読んでくつろぐようにアートを楽しんでいってください。

RECEPTION

レセプションパーティー　テーブルコーディネート 佳瑚(Kako Sugahashi)

MC AKI/D-SHOT
MUSUC LIVE : YUKIHO IKEGAYA

YUKIHO IKEGAYA
東京都出身。シンガーソングライター。22歳でNYへ渡りゴスペルクワイヤに所属。
帰国後はオリジナルやジャズ、ゴスペルなどのカバーを中心にピアノ弾き語りで活動中。
1度きりしか生まれない音楽の"再生"をどうぞお楽しみ下さい。

ABOUT

100%NEW YORK

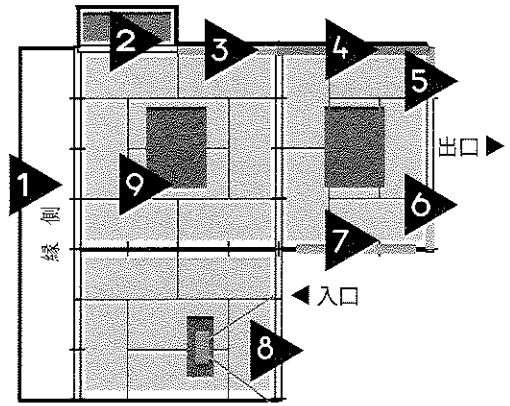
ニューヨークで留学や滞在経験を持つ若手アーティストに、日本での発表の場を作りたいという思いから誕生しました。異国での経験が、表現のスタイルやアーティスト自身にどのような影響をあたえたのか。展示会を通じて多くの人たちにお伝えできればと思っています。

DONATIONS　アーティストサポート料

100%NewYorkでは、出展アーティストの活動支援金を募集しています。ご協力をお願い致します。

STAFF of 100%NEW YORK

オーガナイザー　濱田 博信　／ ディレクター　藤野 えり　／ デザイナー　KIM(Yuko Kimura)



1 歓喜　／　CHACK

庭から眺める絵本
①キンズはマークと出会った。マークは釣りが好きらしい。
上手くはないが、たまに大きい魚を釣る。
②マークは料理をするらしい。美味しいけどちょっとあっさり。
③マークは歌をうたう。あまり上手くはないがアジがある。
④マークは絵も描くみたい。上手くはないが色鮮やかだ。
⑤そしてキンズは気付いた。マークは人々に生きる喜びを与えていると。

2 記憶の音　／　藤野えり

それぞれの人の中にある"音の記憶"を再生しながら鑑賞してほしいと思い、掛け軸とランプシェードによる秋を表現した空間を作りました。

虫の声、草がそよぐ音、静寂…。

「記憶の中の音」を この床の間を見て感じて欲しいと思っています。

3 Factory/Office　／　株式会社 濱田設計測量事務所

作品に記載。

4 Play　／　佳瑚(Kako Sugahashi)

どこかでかかってしまった歯止めが
"わたし" にはあります。

一時停止中の "わたし" を再生する。
すると、見知らぬなにかが流れだす。

人が人らしく生き始める瞬息を切り取りました。

5 Mexican Skeleton　／　MEGUMI

メキシコでは2500-3000年前から続く祖先のガイコツを身近に飾る習慣があります。以前メキシコを旅行で訪れた時に、街なかにはカラフルに装飾されたガイコツがあちこちで見られました。メキシコでガイコツは、死と生まれ変わりの象徴と考えれているそうです。

このガイコツは、生まれ変わりの象徴という思想を展示のテーマ「再生」から考え、ケーキで表現してみました。

6 再生アイスクリーム Go back in time　／　KIM(Yuko Kimura)

時代の移り変わりで失われてしまうものは沢山あります。瓶詰めのヨーグルトや牛乳、宅配用の専用木箱など、かつては当たり前にあった人の手を感じられるモノが、便利さと引き換えに少なくなっていくことに少し寂しさを感じています。

今、ニューヨークに滞在して感じるのは、ハンドメイドやオーガニックなど素材や産地にこだわったプロダクトのお店に触れる機会が多いこと。失われかけていた、人の手を感じられることの価値を思い出させてくれます。

今回の展示会のテーマ「再生」から、瓶のパッケージを考えました。今は見かけることもすくなくなったこの瓶のカタチや感触は、きっと子供のころの記憶を再生するきっかけになるのではと思っています。

7 Purehearted　／　ISSO

中央アジアからニューヨークへ。彼女(当時19歳)は、自分と家族の生活を変える為に、再出発をニューヨークからスタートする。彼女の日々のわずかな休憩時間を撮影。

8 New Day　／　MEI&YUKA

新しい一日をお祝いしましょう!人生は一度きり。同じ日なんて2度とない。朝がくるたびに新しい自分になる。
それが私たちの「再生」
Alicia Keys ' NewDay'の歌詞に共感を持ち、私たちの「再生」を表現しました。

9 キュウリの唄　／　大石 秀宣

わたしはいきものです。一生懸命に生きてます。